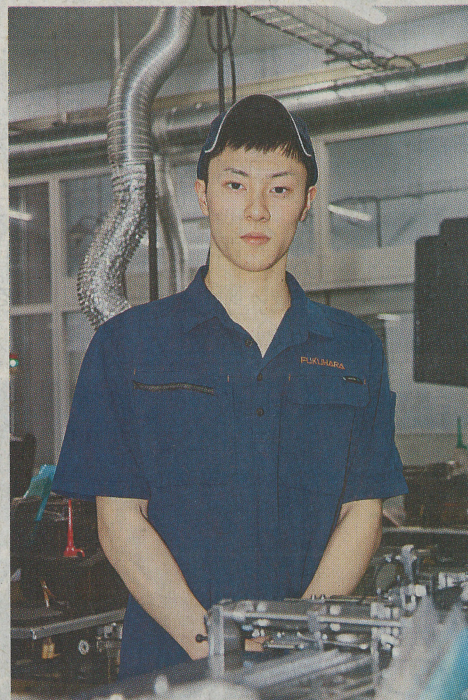




すみ やまと
角 大和さん(19歳)

白浜町堅田 福原ニードル

はきはきと受け答えをしてくれる好青年。社長が「うちのホープです」と太鼓判を押すのも納得である。所属課では、約40人の中で最年少という。

工業用メリヤス編み針や部品を製造する会社に入社して、ちょうど1年。専用の機械を動かす、針をたたいて伸ばし、長さをそろえ、先端をとがらせるという加工を担っている。自身が1日に扱う針は24万本前後。「優しい先輩ばかりで、分からないことがあれば何でも教えてくれる。いい環境で働かせてもらっている」と話す。より早く、より丁寧に仕事をこなせるようになるのが、今の目標だ。

白浜町の出身。家族で卓球漬けの日々だった。卓球の腕前は、見る上達。強豪として知られる和歌山商業高（和歌山市）へ進み、3年生の時には県大会のシングルス部門で優勝した。「朝から晩まに卓球をやるのが、今の生活だ」という。

（中陽一）